

# 民児協だより



—支えあう 住みよい社会 地域から—

**小さな町で、みんなで作る 子育てマップ**  
～in 真鶴～

真鶴は歩いて回れるほどの小さな半島です。子ども連れで楽しめるスポットや、子育てで利用するシーンのある施設をまとめました。

- 公共施設 ● 遊べる場所 ● 商業施設 ● お手洗い
- 教育機関 ● 医療機関 ● 駐車場

**真鶴町子育てガイドブック まなっこ**

真鶴町民生委員児童委員協議会

便利に使っていただけたら嬉しいな!

## まなざし

人口7,300人余りと小さな自治体ですが、真鶴町民児協は、「小さな町で、みんなで作る」をモットーに、子育て支援をしています。

平成30年、町で安心して出産や育児を行えるよう、主任児童委員を中心に「真鶴町子育てガイドブック まなっこ」を作成しました。母子健康手帳に始まり、出生届の提出や児童手当の申請、育児セミナーなどを紹介する内容です。その中の「子育てマップ」は、子ども連れで楽しめるスポットや、子育てをしていくうえで利用できる施設をまとめて紹介しています。

ガイドブックを手にしたお母さんからは、「子育て情報がそろっているので分からない事があったら開こうと思います」や「いただいたプリントはファイルに加えて使っています」などの声が寄せられています。

育児に関する困りごとの解消には、より身近な地域での育児支援が必要です。私たちは、これからも行政や福祉団体との連携を図りながら、取り組みを続けていきたいと思ひます。

(真鶴町民生委員児童委員協議会)

### ◆特集 平成30年度受章(賞)者紹介 おめでとうございます

- ひとネットワーク「スクールソーシャルワーカーと委員との関わりと連携」 ●「ありがとうのエピソード」
- 活動研究レポート「『今だからこそ』つながり作るあいさつ運動(松田町民児協から)」 ●通信員だより

# 平成30年度受章(賞)者紹介

おめでとうございます

◇春の褒章(4月29日付)  
藍綬褒章

〔横須賀市・元〕小林英樹

◇秋の褒章(11月3日付)  
藍綬褒章

〔横須賀市〕小川貴美子  
〔平塚市・元〕飯田弘  
〔厚木市〕渡邊治代

◇厚生労働大臣表彰(11月22日付)  
〔民生委員・児童委員功労者〕

〔鎌倉市〕平本恭子  
〔大和市〕平本美恵子  
〔伊勢原市〕若松操  
〔綾瀬市〕二ノ宮要子  
〔共同募金運動奉仕団体〕  
横須賀市大津地区民児協

◇全国社会福祉協議会会長表彰(11月22日付)  
〔民生委員・児童委員功労者〕

〔平塚市〕山田信子  
〔鎌倉市〕大木君江  
〔藤沢市〕石田マユミ  
〔逗子市〕坂口敏子  
〔大和市〕村瀬てる代  
〔座間市〕城条洋子  
〔綾瀬市〕松本信之

◇全国民生委員児童委員連合会会長表彰  
(9月27日付)

〔優良民生委員児童委員協議会表彰〕  
茅ヶ崎市鶴嶺東地区民児協  
座間市民児協  
〔永年勤続民生委員・児童委員表彰〕

〔横須賀市〕青木啓子 赤坂慶子  
白石和治 穂本年男 浅野みつ江  
飯倉秀子 飯島多加子 池田明

石井央 岩崎和子 岩堀武子  
白井英勝 江川治雄 大森恵子  
岡本照子 小澤日子 柏倉富代

片山良子 金綱祐子 亀田知明  
日下マチ子 後藤郁子 小林光江  
佐々木ます美 佐藤紀子 篠原美奈

志村恵美子 白石義和 杉澤勉  
高井久美子 中村絃一 中村由記枝  
永山宏子 成川房子 新倉昌子

二本木佳代子 人見美知子  
檜山直春 福本幸子 船山久子  
堀越君枝 前川京子 薬袋豊夫

三富陽子 三村向子 村瀬幸子  
森田さと子 山下夫美子 渡辺鉄巳  
〔平塚市〕相原明美 天羽輝彦

飯澤典子 今井洋子 浦田順一  
小原公一 金子香代子 川島辰治  
菊池一夫 久保寺政美 熊澤美智子

阪田十一 鈴木幸子 鈴木和嘉子  
高井育子 高橋たつ子 長岡津也子  
中島淑子 中村清 長谷川啓子

樋口扶美 藤田武 星野節子  
松本ゆき子 三浦律子 森昇子  
森山昭夫 諸田艶子 横川正夫

和田トシ子  
〔鎌倉市〕大久保初代 古河詔子  
小林美智子 重田純子 須藤富ゐ

関正紀 津村留美 福田静子  
村上富造 森田裕美子 山崎博夫  
山ノ上喜一郎

〔藤沢市〕阿部茂子 天野正  
井口今朝吉 石井彩子 大内知子

大田哲夫 長田五十鈴 神谷佳代子  
川口信太郎 草野多津子 小林一雄  
紺井和彦 櫻井頼子 幸山完

杉野千鶴子 鈴木明世 鈴木幸子  
田頭悠子 高根三保子 高橋美智子  
高橋洋子 武田明子 田中信子

玉腰巳佳 常泉孝子 手塚明美  
外川久美子 戸板博子 渡真利康子  
富田耕 富田三知代 長島トミ子

能勢敏之 林とも子 原田稔  
福島進 福嶋泰子 藤田尚  
藤本富美代 本多典子 松田晴恵

松本眞理子 箕浦さおり 水野三代子  
宮崎政良 森井賢一 矢部喜美枝  
山本春江 山口武子 山口博子

山下伊津子 山田徳子 和田洋治  
〔茅ヶ崎市〕五十嵐優子 岩崎孝子  
小川三枝子 菅野京子 北村佳代子

久保田昭二 駒井博子 佐藤典子  
高田陽子 三橋美千子 宮原澄江  
村松克義

〔逗子市〕草柳ゆきゑ 小林明美  
高津恵一  
〔三浦市〕石井京子 岩切瑠美子

澤田和男 野沢昌子 平野正美  
〔秦野市〕安居院美恵子 石川義雄  
市原ちか子 今井節子 大原紀子

川口廣司 栗原幸一 谷昌枝  
中里進二 中村次義  
〔厚木市〕井上敏昭 大沢みき

大塚清子 大塚裕美 小塩頼良  
小本寛司 齊藤正昭 坂内勝男  
佐藤田利子 佐藤良市 重田春美

島村まさこ 鈴木とも子 曾根茂  
縄幸枝 丸山文雄 柳下浩幸  
山田芳一 山本淳一 行本住枝

吉澤鏡子  
〔大和市〕浅田紀子 薄田折雄  
遠藤武夫 熊谷恵美子 向後久子

佐藤忠子 白石まさ子 関口好枝

立場サチ子 内藤邦男 中丸由美子  
服部ますみ 峯一男 宮内芳枝  
遊佐静子 吉谷和美 米津正義

〔伊勢原市〕大川房子 齋藤絹江  
関根久江 高橋静江 田中智子  
常盤政子 安田博美

〔海老名市〕石垣幸子 梅田ひろ子  
小池一美 佐久間えい子 守屋佐千子  
〔座間市〕有山恵子 岩脇英暁

大粒来トモ子 古宮和子 鈴木敬司  
鈴木八千代 千田幸子 高田富美子  
土屋昭宏 樋口善久 古谷育代

松田幹江 矢島由治 吉田好子  
〔南足柄市〕井川美代子 加藤正敏  
武井鈴世 古屋テイ

〔愛川町〕甘利敦子 石井康弘  
小池満晴 小島重夫 八木下修治  
〔葉山町〕鈴木鞠子 須藤トクエ

徳岡昭夫  
〔寒川町〕市本益子 金子由利子  
小西悦子 佐和橋みどり

高橋輪加子 前田久子 山口幸子  
〔大磯町〕安藤憲和 山田操  
〔二宮町〕関口和世 西山千鶴子

脇令子  
〔大井町〕浅倉初江 菅谷美千江  
〔開成町〕金澤幸男

〔箱根町〕市川毅 小川道亞  
小林徳義 佐々木匡子 高波節子  
星野洋子 三谷伸子 山谷洋子

〔真鶴町〕相磯礼子 青木幸子  
宮西悦子 脇山亜子  
〔湯河原町〕秋山こず枝 梅原紘明

北村敦子 車谷眞理子 鈴木きよみ  
高杉正枝 露木初子 袴田百合子  
橋本佳宏 日野勝代 室伏由美子

◇県民功労者表彰(6月11日付)  
〔社会福祉分野〕

〔横須賀市〕井澤興

〔鎌倉市〕白井智子 〔藤沢市〕三誓壽則  
 〔大和市〕青木恵美子  
 〔伊勢原市〕宮崎八重子  
 〔座間市〕城条洋子 〔綾瀬市〕松本信之

◆神奈川県知事表彰(10月19日付)

〔民生委員・児童委員永年勤続表彰(在職15年)〕  
 〔平塚市〕梶山富子  
 〔藤沢市〕山本佐衣子 三縄みちよ  
 〔逗子市〕小川貴美代 高岡美美子  
 〔秦野市〕藤本きよみ 中志陽一  
 〔大和市〕保田穎子  
 〔共同募金運動功労者表彰(個人)〕  
 〔平塚市〕小瀬村春雄

◆神奈川県社会福祉協議会会長感謝(10月19日付)

〔永年勤続功労者(勤続20年以上)〕  
 〔横須賀市〕志田良子 東海林義勝  
 〔鎌倉市〕大木君江  
 〔逗子市〕坂口敏子 〔大和市〕柿沼信子

◆神奈川県社会福祉協議会会長表彰(10月19日付)

〔永年勤続功労者(勤続10年以上)〕  
 〔横須賀市〕青木啓子 赤坂慶子  
 白石和治 穂本年男 浅野みつ江  
 飯倉秀子 飯島多加子 池田明  
 指宿喜代子 岩崎和子 岩堀武子  
 臼井英勝 江川治雄 大森恵子  
 岡本照子 小澤日子 柏倉富代  
 片山良子 亀田知明 日下マチ子  
 後藤郁子 小林貞行 佐々木ます美  
 佐藤邦子 佐藤紀子 篠原美奈  
 志村恵美子 白石義和 杉澤勉  
 高井久美子 中村紘一 中村由記枝  
 永山宏子 成川房子 新倉昌子  
 二本木佳代子 人見美知子  
 檜山直春 福本幸子 船山久子  
 堀越君枝 前川京子 三富陽子  
 薬袋豊夫 三村向子 村瀬幸子

森田さと子 山下夫美子 龍崎信子  
 渡井功夫 渡辺鉄巳  
 〔平塚市〕相原明美 相原ふみ  
 天羽輝彦 飯澤典子 今井洋子  
 浦田順一 岡部由美子 小原公一  
 金子香代子 鎌田一美 川島辰治  
 菊池一夫 久保寺政美 熊澤美智子  
 阪田十一 鈴木幸子 高井育子  
 高橋たつ子 長岡津也子 中島淑子  
 中村清 長谷川啓子 樋口扶美  
 藤田武 星野節子 堀口修一  
 松本ゆき子 三浦律子 森昇子  
 森山昭夫 諸田艶子 横川正夫  
 和田トシ子

〔鎌倉市〕大久保初代 小林美智子  
 重田純子 須藤富る 関正紀  
 津村留美 福田静子 古河詔子  
 村上富造 森田裕美子 山崎博夫  
 山ノ上喜一郎

〔藤沢市〕阿部茂子 井口今朝吉  
 石井彩子 和泉圭亮 大内知子  
 大田哲夫 長田五十鈴 神谷佳代子  
 川口信太郎 草野多津子  
 久保本洋一 幸山完 紺井和彦  
 櫻井頼子 杉野千鶴子 鈴木明世  
 鈴木幸子 田頭悠子 高根三保子  
 高橋美智子 高橋洋子 武田明子  
 田中信子 玉腰巳佳 常泉孝子  
 手塚明美 戸板博子 外川久美子  
 渡真利康子 富田耕 富田三知代  
 長島トミ子 能勢敏之 林とも子  
 原田稔 福島進 福嶋泰子 藤田尚  
 藤本富美代 本多典子 松田晴恵  
 松本眞理子 三木瑛子 箕浦さおり  
 宮崎政良 森井賢一 矢部喜美枝  
 山口武子 山口博子 山下伊津子  
 山田徳子 山本春江 和田洋治  
 〔小田原市〕相田春子 青木祐伸  
 秋山恵美子 安藤邦子 池田法枝  
 井上奈美子 大川紀江 鍵和田健治

川向由起子 掬川光美 小塩千恵  
 佐藤直美 椎野尚 高橋しのぶ  
 田邊淳子 辻美智子 長崎民夫  
 中野桂子 藤田容子 宮本純  
 山崎由起子 山田信子 横山孝之  
 吉田好男

〔茅ヶ崎市〕五十嵐優子 岩崎孝子  
 小川三枝子 菅野京子 北村佳代子  
 久保田昭二 駒井博子 佐藤典子  
 高田陽子 三橋美千子 宮原澄江  
 村松克義  
 〔逗子市〕草柳ゆきえ 鈴木昌代  
 山口悦子  
 〔三浦市〕石井京子 岩切瑠美子  
 澤田和男 野沢昌子 林原和子  
 平野正美

〔秦野市〕安居院美恵子 石井富士子  
 石川義雄 市原ちか子 今井節子  
 大原紀子 川口廣司 北村均  
 栗原幸一 中里進二 中村次義  
 和田房枝  
 〔厚木市〕大沢みき 大塚清子  
 大塚裕美 小塩頼良 小本寛司  
 齊藤正昭 佐藤由利子 佐藤良市  
 重田春美 島村まさこ 曾根茂  
 縄幸枝 坂内勝男 丸山文雄  
 柳下浩幸 山田芳一 山本淳一  
 行本住枝 吉澤鏡子  
 〔大和市〕浅田紀子 遠藤武夫  
 大塚文男 小倉幸子 向後久子  
 佐藤忠子 薄田哲雄 関口好枝  
 武川孝子 立場サチ子 内藤邦男  
 中丸由美子 服部ますみ 峯一男  
 宮内芳枝 遊佐静子 吉谷和美  
 米津正義

〔伊勢原市〕大川房子 齋藤絹江  
 関根久江 高橋静江 田中智子  
 常盤政子 安田博美  
 〔座間市〕有山恵子 岩脇英暎  
 大粒来トモ子 古宮和子 鈴木敬司

鈴木八千代 千田幸子 高田富美子  
 土屋昭宏 樋口善久 古谷育代  
 松田幹江 宮松正一 矢島由治  
 吉田好子  
 〔南足柄市〕井川美代子 加藤正敏  
 武井鈴世 古屋テイ  
 〔綾瀬市〕冨場里子 池亀昇  
 伊藤寧彦 井上勝之 岩井勇夫  
 河又隆 狐塚文子 庄司幸枝  
 鈴木正治 根岸堯子 人見カツ子  
 峰尾捷子 八木修治  
 〔愛川町〕甘利敦子 石井康弘  
 小池満晴 小島重夫 八木下修治  
 〔葉山町〕鈴木鞠子 須藤トクエ  
 徳岡昭夫  
 〔寒川町〕青木澄雄 市本益子  
 金子由利子 小西悦子 高橋輪加子  
 前田久子 山口幸子  
 〔大磯町〕安藤憲和 山田操  
 〔二宮町〕関口和世 西山千鶴子  
 協令子  
 〔大井町〕浅倉初江 菅谷美千江  
 〔山北町〕高橋つや 三尋木聡美  
 〔開成町〕金澤幸男  
 〔箱根町〕市川毅 小川道亞  
 小林徳義 佐々木匡子 高波節子  
 星野洋子 三谷伸子 山谷洋子  
 〔真鶴町〕相磯礼子 青木幸子  
 宮西悦子 脇山亞子  
 〔湯河原町〕秋山こず枝 梅原絃明  
 北村敦子 車谷眞理子 鈴木きよみ  
 日野勝代 室伏由美子

◆神奈川県共同募金会会長感謝(10月19日付)

〔神奈川県共同募金会会長感謝(個人)〕  
 〔平塚市〕岩井良男 〔鎌倉市〕梅澤徳夫  
 〔藤沢市〕原田稔 〔小田原市〕椎野尚  
 〔伊勢原市〕若松操

※敬称略 原則五十音順。所属は受賞当時のもの。

ひとネットワーク  
地域と社会資源

# 教育と福祉の 専門家の スクールソーシャルワーカーと 委員との関わりと連携

## スクールソーシャルワーカーと 関わるがありますか？

学校との会議や要対協（要保護児童対策地域協議会）などで、顔を合わせる機会もあるかもしれませんが、

神奈川県には、4つの教育事務所と県立高校のうち拠点となる高校に配置され、全部で約70名のスクールソーシャルワーカーが小中学校と高校で活動しています。

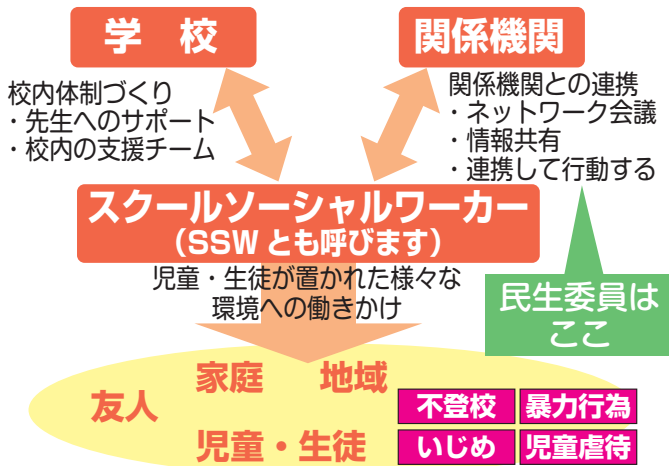
今回は、神奈川県教育局子ども教育支援課の柴崎さんと武井さんに、スクールソーシャルワーカーの活動や役割について教えていただきました。

## スクールソーシャルワーカーと スクールカウンセラーの違い

「スクールソーシャルワーカー」とは別に、「スクールカウンセラー」も聞いたことがあるのではないのでしょうか。言葉は似ていますが、役割は異なります。

「スクールカウンセラー」は、

図1 スクールソーシャルワーカーの役割



心に注目し、問題解決を図る専門性があります。一方で、「スクールソーシャルワーカー」は、子どもと親、その周りの環境に焦点を当て、さまざまな関係機関と協働しながら、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図る教育と福祉の知識を持った専門家です。

## 子どもが抱える課題に学校とは異なる視点で向き合う

スクールソーシャルワーカーが対応するケースは、複合的な課題がある子どもやその家族である場合が多く、社会福祉の視点で関わりを持つところが特徴です。

ある不登校の小学生は母子家庭で、お母さんは精神的に不安定。子どもの登校に無頓着で、家はゴミであふれてました。

学校の先生は、「登校できるのかどうか」お母さんと何度も話しましたが、行き詰まり、スクールソーシャルワーカーが対応することになりました。

スクールソーシャルワーカーは、家庭環境に働きかけ、お母さんの気持ちに耳を傾け、子どもだけでなく、お母さんの体や生活についても話を重ねていきました。その結果学校とのやりとりがスムーズになっていきました。

他にも、必要に応じて、経済的な状況に対する情報提供や、子どもに合わせた学習環境を整えるなど、教育だけでなく生活面の支援をするのがスクールソーシャルワーカーの役割です。

## 課題の背景をみることでチーム連携を大切に

学校に、課題がある子どもがいた場合には、ケース会議が開かれます。その中で、福祉の専門的な助言や支援が必要な場合に、校長先生の判断でスクールソーシャルワーカーに相談が入ります。スクールソーシャルワーカーを含めた会議を経て、子どもやその親に関わります。

その時に大切にしていることは、「課題の背景」です。「不登校や引きこもり、発達や虐待など、さまざまな課題は、子どもだけでなく、その家族の状況や養育の環境が関連していることが多くあります。いかに課題の背景を考え、要因を見つけ出すかが、最大のポイントになります」(図2)。そして、解決に向かうためには、「学校はもちろん、民生委員・児童委員も含む関係者と一緒に、複雑に絡みあう課題にチームで向き合う必要性を感じています」と武井さんはお話しして下さいました。

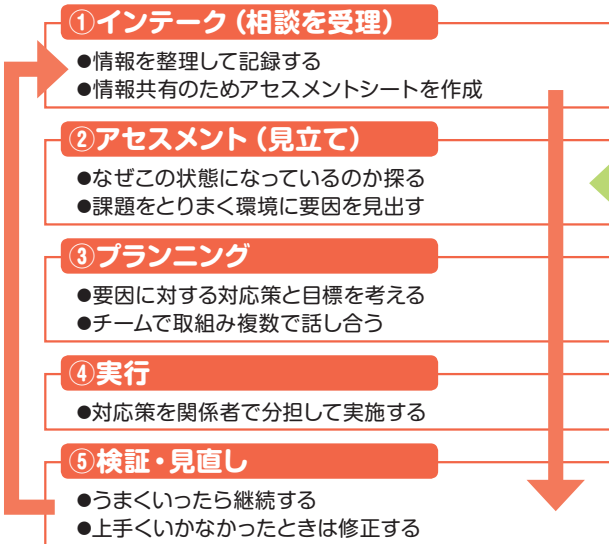
## 頼り頼られる存在としての期待

このように、「社会福祉の視点で関わること」や「課題の背景を

「より良い関係を目指して」  
 スクールソーシャルワーカーの制度が創設されてから約10年、高校に配置されるようになって4年。今後さらなる制度の充実と増員が望まれます。  
 また、民生委員・児童委員としても、スクールソーシャルワーカーとの連携が求められる機会が増えると考えられます。そのため、各学校との情報交換などを通し、日頃から先生方とのつながりを作るのが大切です。校長先生や教頭先生はも

「考えること」、「関係機関と一緒に支援すること」などは、民生委員・児童委員の視点や姿勢と似ていると思いませんか？  
 スクールソーシャルワーカーが「教育と福祉の専門家」であるのに対し、民生委員・児童委員は「住民目線の支援者」として、それぞれが同じ視点や思いで活動できるといえることは、お互いに頼り頼られる存在になり得るのではないのでしょうか。

図2 スクールソーシャルワーカーの支援の流れ



**連携のためのコツ**

- 良い支援をするためにはアセスメントが重要です。
- 委員が知るアセスメントに「必要な情報」を提供できると、より良い連携につながります。

**「必要な情報」とは…**

例えば、家族の様子、校外での様子、生活習慣、行動の特徴、言葉やコミュニケーション、子どもや親の気持ち、地域とのつながり、子どもや家族の強み など。

※なお、個人情報の取り扱いには十分に注意しましょう！

ちろん、地域との関わりやすい立場にある保健室の先生や、教育相談コーディネーターの役割を担う先生などとの関係づくりにも、努めていけると良いのではないのでしょうか。

(広報委員 宇田川敏枝、大沢みき)

神奈川県「スクールソーシャルワーカー活用ガイドライン2」、神奈川県HP掲載資料「スクールソーシャルワークのプロセス」を参考に作成

## 民生委員・児童委員の「ありがとうのエピソード」第1弾



第1弾は、南足柄市民児協の委員2年目石塚義隆さんが、やりがいを感じ、感動したお話を紹介します。

### 「たまにはお魚やお肉が食べたい」

昨年の7月下旬、毎月訪問している一人暮らしの女性(80歳後半)宅を訪問しました。元気な高齢者で、家庭菜園で作業する姿もいつもと特に変わった様子はありませんでしたが、帰宅するとき「石塚さん、たまにはお魚やお肉を食べたいよ」と言われました。これは本当に日常生活が苦しく大変なのではないかと感じました。

自宅に帰り、言われた言葉は何をして欲しいのか。自分に何の支援ができるのかと思いながら、とにかく速やかに対応しなければいけないと思いました。

### 民生委員・児童委員として

数日後に訪問して、まず現状を把握するため、ご本人の承諾を得ながら、相談内容(家族構成・経済面・要望事項・環境面等)を1時間ほど伺って記録に残しました。また、委員として、「親族に少しでも援助してもらえないかと問いかけるのはいかがでしょうか」と助言し、「私も少しでも前進するように誠意を持って関係機関と相談しますので安心してください」と声をかけました。その後、地域包括支援センターと福祉課の担当者と検討を重ね、後日、自宅を訪問してその内容について分かりやすく説明しました。最終的には、生活

困窮者の支援制度の手続きについて、本人とお子さん同伴で福祉課の担当者と相談していただきました。

### 心の底からの「ありがとう」

どこまで生活支援が受けられるのか心配していましたが、約1ヵ月後、本人から電話がありました。「支援制度が適用されました。石塚さんありがとう。本当にありがとう」と。心の底からお礼の言葉を言っているのが伝わってきました。「いや、こちらこそありがとうございます。これからもよろしく願います」と言って電話を切りました。少しでも前進したのかな、と嬉しく思いました。

### これからも「人と人とのつながり」を大切に

この活動で得たことは、情報は持っても進行しない、立派な言葉より一つの実行が大切だということ。そして、時代はいくら変化しても「人と人とのつながり」が最も大切な活動の基本だということです。これからも活動していく中で、自然に「石塚くんありがとう」と言って頂けるよう努力してまいります。

発刊協村民村町市  
活動研究レポート  
No.42

「今だからこそ」つながりを作るあいさつ運動

松田町のあいさつ運動から

松田町は人口約1万1千人、約4千6百世帯。単位民協協は1つで現在は34名の委員が活動しています。民協の活動の枠を越えて、町全体で自主的なあいさつ運動をしているところが特徴です。取材当日、新松田駅周辺だけで6名の委員と、自治会等の方々があいさつ運動をしていました。

●朝は笑顔で！

松田町のあいさつ運動

朝7時。冬は底冷えする日も多いなか、松田町の小中学生の登校が始まります。

新松田駅の程近くに小学校と中学校があります。中学生は家が密集する細い路地を徒歩や自転車で登校し、小学生もまた、車が行き交う一方通行の道を友達グループ、または一人で登校します。

民生委員・児童委員（以下、委員）のほか、自治会の防犯パトロール隊、警察の方などが毎日、子どもが多く通る交差点、見通しの良くない路地に立ち、子どもたちに笑顔で「おはよう！」と声をかけています。

●子どもたちの変化に

寄り添い安全を見守る

子どもの元気がないときは、歩き方で分かるという松田町民協

副会長の早崎さん。「どうしたの？」と声をかけると、お腹が痛いとか嫌な授業があるなど、色々なことを話してくれるそうです。

「最後には『さあ、行ってらっしゃい！』と送り出すと、嬉しそうに学校に行く子どもが多いんです」と目を細めます。

また、細い路地では、通勤中の車にも気を配り、子どもたちに危険がないよう注意することも大切です。委員の小野さんは、「委員の黄色い腕章をつけていると、車がスピードを落とすなど、抑止力になるんです」と教えてくれました。

●町の子どもたちの成長が一番の幸せ

一番の幸せ

小学1年生の時は、毎朝おばあちゃんに連れられ、学校の給食が食べられなくて泣きながら登校していた子も、今は4年生。体も大きくなり、元気に学校に通って

るといいます。

「自分の子どもの成長は気付きにくいですが、毎朝会う子どもたちの成長はよく感じる。それが何より幸せ」と、委員の皆さんは口を揃えていました。



●町ぐるみのあいさつ運動

月2回、松田町役場の職員も通

学路に立っています。

数年前、「住民が毎日あいさつ運動をしているんだから、役場としても何かすべきでは」との声が上がり、毎月1日と15日に各課の職員

約15名があいさつ運動をしています。取材当日は、副町長や教育長も小学生に微笑みかけていました。さらには、警察の方が巡回中に一緒に通学路に立つってくれるなど、朝早くに信頼できる大人が、自然に子どもたちを見守る様子は、あたたかく安心感がありました。

●「いまさら」ではなく

「今だからこそ」のあいさつ

「いまさらあいさつ運動なんて、と思う人もいるかもしれない。でも、そのあいさつができない人があるのも現実です」と松田町民協の岩本会長は言います。「人と人とのつながりが薄れ、子どもの虐待事件も後を絶たないなか、コミュニケーションの始まりであるあいさつでつながりが出来れば、悲しい事件を少しは防げるのではないか」と語ってくれました。

いつも会う中年の女性は、あいさつをしても顔色一つ変えませんが、それでも毎日声をかけ続けると、最近はずっとだけ反応してくれるのだそうです。

地域の関係が希薄になっている「今だからこそ」あいさつの大切さに改めて気付かされました。

「子どもは町の宝」という想いを継承するあいさつ運動  
 松田町のあいさつ運動は、自治会の防犯組織が起源ではないか、と自治会長を兼務する渋谷さんは言います。町民の声から始まった活動を、現在まで大切に引き継いでいます。

一方、平成24年度から始まった民児協の事業として、現在は学期初めの一週間に交通指導をしており、それ以外は、委員が自主的にあいさつ運動をしています。そのため、毎日活動する人もいれば、週に数回の人もあります。予定があれば休むこともあります。

それでも毎朝、どこかで誰かがあいさつをしている松田町。決して、命じられたわけではないあいさつ運動が、脈々と受け継がれて



きたのは、「子どもは町の宝」という町民の想いが継承されてきたからこそ、であることは間違いありません。

● **あいさつで人と人とが つながる地域へ**

毎日あいさつ運動をしていると、たまに休んだ次の日には「昨日いかなかったね」と子どもたちに心配され、スパーでは「防犯のおっちゃん！」と呼びかけられるとのこと。自然に人と人とがつながっている様子が目に浮かびます。

小学校1・2年生の下校時間には、町全体に小学生の生の声で「これから下校します。見守りよろしくお願いします」と放送が流れます。それを聞いた大人たちはほんの少し意識をし、子どもたちに会えば声をかける。そんな町の姿が想像できます。

「つながりを作り深めていくと同時に、子ども達から元気をもらえる方法が、あいさつです」と笑いながら話す岩本会長は、あいさつ運動の先に、地域がつながりを深めていく未来を見通しているようでした。

(広報委員 田村正一、金子明)

## 活動のヒント・ポイント

### 「あいさつ」からさらなる「繋がり」に期待

私たちは地域の誰もが周囲の人々から必要とされ、大切にされていると感じられる地域づくりを目指して民児協活動に取り組んでいます。松田町民児協の「あいさつ」運動への取り組みは、その大きな第一歩です。子ども達と「あいさつ」を交わすことを通して、地域の新たな「繋がり」を育み、地域の人々から大切にされ、必要とされているとの想いを、子ども達の心に育む活動です。

「あいさつ」は、言葉を通してお互いが出会い繋がる大きな契機(きっかけ)となりますが、「言葉」以外の「あいさつ」も大切です。話すこと(言語表現)が苦手な人、他者への緊張が強い人等、様々な人々が地域には暮らしています。言葉で「あいさつ」が返ってこなくても、心の中で、表情やしぐさで

桜美林大学特任教授  
 大溝 茂さん  
 (民生委員・児童委員)



「あいさつ」を受け止め応答している人々が地域にはともに生活しています。

「あいさつ」を、想いと心の伴った「共感と向き合いの言葉」としたいと思います。

地域の人々の生活の中で、出会いや繋がりをより広げていく工夫を考えては如何でしょう。朝の通学時や下校帰宅の時間に合わせて、地域で昼間を過ごしている高齢者の方、子育て中の親子、近隣が誘い合い、買物や散歩に外出する機会にしてみても如何でしょう。

登下校の子ども達との出会いの機会を地域全域に広げ、「あいさつ」がより多くの近隣、地域の人々の繋がりへと松田町民児協の「あいさつ」運動が展開していくことを期待しています。

# 通信員だより

## 平塚市

### 民生委員活動を伝える 「ひらつか民児会報」への取り組み

通信員 天羽 輝彦

平塚市民児協では、民生委員活動を伝える会報「ひらつか民児会報」を平成に入ってから創刊し、現在29号を数えます。当初は民生委員向けでしたが、22号(平成26年)から誌面を新し、市民の皆さんにも自治会(町内会)からの回覧という方法で年2回お届けしています。

この会報作りには、市民児協と市内23ある地区民児協の代表24名が広報部会を組織し担当しています。一斉改選後の初会合



市子ども家庭課で取材中の広報部会

では市の広報紙「広報ひらつか」を担当する方を講師に会報作りの基礎を習い、編集方針、取材、割付、版下作りまでを自分たちで担当しています(印刷はネット印刷を利用)。

構成は、市民児協の動向や「地区民児協だより」のコーナーで子育てサロン、高齢者食事会など各地区での取り組みを伝え、振り込め詐欺防止キャンペーン、避難行動要支援者登録へのお誘いなどその時々の特ピックなども掲載し、さらに、主な会議・研修、市の動向なども継続して掲載しています。

最後に、最新の30号(3月発行)は一斉改選特集とし、アンケートや活動記録の結果を基に、日頃の民生委員活動を伝えられるよう企画しています。

## 葉山町

### 葉山町高齢者福祉部会の活動 色々勉強して、日々の活動に役立っています

通信員 市川 恵

葉山町の民生委員・児童委員は高齢、障害、児童の3つの部会で活動していますが、その中から高齢部会の活動の一部をご紹介します。

一つは老人ホームやグループホームへの友愛訪問で、一緒に歌を歌ったり、お話をしたり坊主めぐりをしたりしています。

また、ご家庭で介護されている高齢者の方のお誕生日に、絵手紙のメッセージを添えてタオルをお届けしています。勉強会で介護保険制度を学んだり、ケース会議で悩みの相談もします。

そして、介護保険施設、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム等の施設見学をしています。昨年は、眺望の良いリゾート型で24時間の医師オンコールと看護師常駐体制の有料老人ホームと、認知症棟のある身体拘束廃止推進モデル施設で、くもん学習療法や介護ロボット・パロを導入したりハ



有料老人ホーム「アシステッドリビング湘南佐島」で。他部からの参加者もいます。

ビリを行う介護老人保健施設の見学に行きました。

民生委員にならなければきつと出会えなかった、民生委員の同期や先輩、後輩、地区の高齢者の方々等とお会いできる事は、民生委員になって一番良かったことです。様々な場面で労いや感謝のお言葉を頂けるのは嬉しく、人生の先輩方のお話は勉強になり、今後活動に役立てていきたいです。

## 山北町

### 山北町民生委員児童委員の ある日のひととき!!

通信員 山崎 みさる

東名大井松田を降り、一路山北方面に足を運んでいただくと霊峰富士山を正面に、人口万三百五十人余り、世帯数四千九四世帯の山北町が目前に開けてまいります。

山北町民児協は、5つの地区部会と児童部会総勢37名で構成され、様々な活動をしております。この日は、その中で山北町社会福祉協議会が主催するボランティアグループの中の給食サービ事業「かきのとっお楽しみ会」に、清水三保部会の民生委員児童委員6名が参加協力をしました。

70歳以上の一人暮らし世帯、高齢者世帯を対象としてボランティアさんが献立と食事を作ってくださいます。「みんなで食べるとおいしいネ」と言いながら楽しい時間が設けられています。



紙芝居に気持ちを込める委員。利用者さんは昔を思い出しながら静かに耳を傾けます。

食事の後に余興の時間が託され、20名余りの利用者さんを前に、民生委員児童委員6名による紙芝居の熱演が行われました。利用者さんの中には、自らも昔子どもたちに読み聞かせをしていたことを思い出す人もおり、懐かしがる言葉が返ってきました。その後、手遊びをしたりしながら会場の中に歓声と笑いに包まれたひとときとなりました。